

指導書購入に追加予算つく

—現場の声を大きくし従来の水準に—

大規模校限定ですが…

教育予算が年々減らされ、今年度も5%カットで、ついに指導書を学年一冊しか配布されない異常事態になりました。

現場の声をもとに、さいたま市教組は「教師用指導書に係る要求書」を四月二十一日、市教委に出しました。

そうした要求の結果、五クラスが二つ以上の「大規模校」に限定で総額八〇〇万円近く（一校あたり十万円、三十万円）の予算が配当されました。ある小学校では少人数指導用、音楽用（CDも含む）、その他学年の希望する指導書等を購入することになりました。

現場からの要求の声をさらに大きくし、指導書・教材等の配布を従来の水準に引き戻しましょう。

要求書抜粋

【教師用指導書に係る要求書（抜粋）】
：（略）：多忙を極める教育現場では、勤務時間中に教材研究をするゆとりがなく、多くの教員は自宅での持ち帰り仕事として授業準備をしているのが実態です。：（略）：誠意ある回答をよろしくお願います。
1. 教師用指導書を教員ひとりひとりに配布すること。
2. そのための予算措置を六月市議会の補正予算に計上すること。



さいたま市教職員組合 (埼教組)

TEL 641-6763
FAX 648-3567
e-mail

saitama@kyouiku-net.org
2005.5.16(月)
No.87

6/4(土) みんなで行こつ

埼教組青年部・春の学習会「センセのがっこ。」

時間割

	1組	2組	3組
1時間目	図工	算数	食教育
2時間目	国語	保健室のあそび	センセの学習会

「授業の「ツキ」を学んでみませんか」
同年代の仲間と一緒に学べた、実践にも役立つと好評です。詳細はチラシをご覧ください。
お気軽に参加を。連絡は市教組へ。

日時 6月4日(土)
13:00~受付
場所 ときわ会館

【さいたま市教職員組合 第5回定期大会】

とき 5月28日(土)
受付 12:40 開会 13:00~
15:30終了予定
場所 桜木小学校体育館
※親睦交流会 16:00~

連続
コラム

組合ってなあーに

第1回

メーデー

五月一日はメーデー。一八八六年五月一日、八時間労働制を要求してたたかわれたアメリカ労働者のストライキを記念したもので一八九〇年世界で第一回メーデーがたたかわれた。日本

では、一九二〇年第一回メーデーが開催される。
「八時間働いて、八時間休んで、八時間余暇を楽しむ」これが「働く者」の要求だった。
二〇〇五年、市教組事務所に臨探者の父親から電話があった。

「うちの子は毎日夜十二時頃帰ってくる。朝も早く七時には学校にいる。いったい組合はどう考えるのか」という内容だった。



初任者が越谷で自殺する痛ましい事件が起きた。毎日から遅くまでがんばって教師の一人として「誰にも気づいてやれなかつたのだろうか」という思いがします。しかし、一方で同僚を気遣う余裕もなく忙しく働き、疲れ果てた教職員も目に見えてくるようです。早速教育委員会から各学校に通知がおりましたが、「勤務時間を適正にしろ」という内容が入っていました。「何て冷たい対応なんだろう。職場は忙しすぎて他の人が悩んでいるって話をすることもできないのに」とある人がつぶやきました。かつて、いじめによる自殺者が出た時期に新潟県教委が「児童生徒とのふれあいの時間を確保するために研究委嘱を減らす」と決意したのとは大違いです。第二の犠牲者を出さないために声を大に叫ばなければ「人間らしく働ける職場をつくらう」そのために、あなたも組合に加わって下さい。

